

「ダンス・ウィズ・ミー」!

with Me
フルーティストたちが



表現力の拡張をめざす

踊れる!

通訳：上田純子 取材協力：ドルチェ楽器
写真提供：studio-e

ロンドンのトリニティカレッジでのワークショップとコンサートから。

日本を含む世界各地
現代フルートのワークショップや
コンサートを行っている
オランダのウィル・オッフエルマンズが、
フルートとムーブメント(動作)の
新しいコンビネーションを提唱している。

ウィル・オツフェルマンズの

Wil
Offermans
Interview

Dance



今までにない動きを伴ったパフォーマンスでフルートの

Blurred text block containing the main body of the interview, which is illegible due to motion blur.

芸術家たちの中に、そうした時代に対する不安や疑問を投げかける人が増えていくことは事実です。

動きを伴うことで、
集中するポイントを増やす



トリニティカレッジでのコンサートで。



Zimmermann社から出版されている「Dance with Me」の教本とその冒頭部分。ビデオ(カラオケCDにもなる)付き。ダンス・ウィズ・ミーの一部はYouTubeがオッフエルマンズ氏のサイトで見る事が出来る(日本語サイトあり)。
www.wiioffermans.com

楽譜には左右前後への動きが記号で指示され、最初は戸惑うが、しだいに慣れるにつれてある種の快感も伴うようになること確実。楽譜冒頭の音は、本文に出てくるウインド・トーン。ぜひマスターしたい音だ。

ウィル・オッフエルマンズ

オランダ・マーストリヒト生まれ。国立ブラバント音楽院卒。国際的に演奏活動を行う一方、フルート現代表法をテーマとして各国の主要音楽大学でマスタークラス/ワークショップを展開している。1992年より毎年「フルート・サマー・コース/現代フルート奏者のために」を開催。薩摩琵琶/声明の上田純子とのデュオでも世界各国の音楽祭に出演している。フルートアンサンブル「ザ・マジック・フルート」「eWave」を主宰。作品はツイマーマン、ドフリンガー、全音楽譜出版社、セジヨン出版より出版。著書に「現代フルート奏者のために—現代技法に関する12の練習曲」ほか。フルート・アンサンブル「五木の子守歌」は全米フルート協会より年度ベスト出版物に選ばれた。1997年に子どもからプロまで幅広く楽しめる競指笛「サムビー」を開発。オランダ・フルート協会よりカヴァー賞受賞。

動きを演奏と無関係
に独立させると、
集中すべきポイント
は増える。



オーストリア・カリンティア地方の音楽教師たちを集めて行われたワークショップでダンス・ウィズ・ミーを指導する。

「サウンド・トーン」を
なぜマスターしなければ
いけないのか？

「フルートは、自分という宇宙的な存在を音にして伝えてくれるもの、それがフルートです。」

「フルートは、自分という宇宙的な存在を音にして伝えてくれるもの、それがフルートです。」

自分という宇宙的な存在を音にして
伝えてくれるもの
それがフルートです。



トリニティカレッジでのワークショップで。



「サムビー」は円筒管に歌口があり、開いた管の両端を親指で開閉することでさまざまな倍音を出せる笛。子供でもすぐにその楽しさが分かり、世界的に普及しつつある。楽器はオッフエルマンズ氏のウェブサイトかサムビーのサイトから入手できる。www.thumby.nl (写真はオランダでのワークショップから)

指穴のない笛「サムビー」が
吹くことの楽しさを
教えてくれる